

夏休み特別企画



農研機構サイエンスカフェ



NARO SCIENCE CAFE NARO SCIENCE CAFE NARO SCIENCE CAFE

第47回 2026年8月22日(土)

食と農の科学館

茨城県つくば市観音台3-1-1

会場マップ



<事前申込制>

8月1日より申込開始



申込フォーム

第1部 野菜からDNAを取り出してみよう!

① 10:30~11:30 (受付開始時間 10:00)

定員 12 名、対象 小学生、中学生



講師 水野 浩志

(農研機構 生物機能利用研究部門 研究推進部 ゲノム編集推進室 上級研究員)

専門は分子生物学、特に植物のDNAや遺伝子の研究をしています。近年は、新しい技術を社会に普及させるためのイベントの講師もしています。博士(理学)。(水野)

DNAは、すべての生き物の細胞の中にある大切な化学物質です。今回のサイエンスカフェでは、野菜からDNAを取り出す実験にチャレンジします。「DNAって何?」「細胞の中ではどんな働きをしているの?」そんな疑問を、実験を通して一緒に考えてみましょう。DNAについて初めて学ぶ人でも大歓迎。理科が好きな人も、「ちょっと気になる!」という人も、ぜひお気軽にご参加ください。



野菜をすりつぶして、DNAを取り出してみよう!

第2部 食べ物の食べ物(栄養)を作る ~知っているようで知らない堆肥の話~

② 13:00~14:00 (受付開始時間 12:45)

定員 40 名、対象 小学5年生~大人まで



講師 小島 陽一郎・Sudeshinie Piyathissa

(農研機構 畜産研究部門 畜産施設管理研究領域 上級研究員・任期付研究員)

畜産研究部門、中央農業研究センターで堆肥の研究一筋15年。2023年4月から現職。堆肥を作り、そこで得られる資源やエネルギーを土や家畜のために利用する研究をしています。休日は少年ラグビーチームのコーチ。博士(農学)。(小島、左)

スリランカ出身。筑波大学修了後、畜産研究部門の博士研究員を経て2025年4月から現職。堆肥化装置を動かすAIやIoTのシステムを開発中です。博士(農学)。(Sudeshinie、右)

皆さんが食べるお米や野菜、これらを育てるために必要なものは知っていますか? 光? 水? 空気? それ以外にも食べ物(栄養)が必要です。SDGsが浸透するずっと前から実践されていたのに、あまり知らない堆肥作りについてご紹介します。お家や学校で堆肥を作っているけど、中々うまくいかない方のご相談もお待ちしております!



堆肥の原料は...?

お問い合わせ先

農研機構中日本農業研究センター広報チーム
☎029-838-8421 ✉ koho-carc@ml.affrc.go.jp

つくば市政策イノベーション部科学技術戦略課
☎029-883-1111 ✉ sts01@city.tsukuba.lg.jp



HPIはこちら

主催: 農研機構

共催: つくば市